

基本計画と
実施計画の素案へ
ご意見をお寄せください

みんなでつくる 未来への計画書

図政策企画課長期計画コミュニティ係(☎5722-9372、☎5722-6134)

私たちのまちの目黒の未来がどうあるべきか、皆さんと一緒に描いた基本構想を実現するための計画書、「基本計画」と「実施計画」を4年3月に策定します。基本計画と実施計画は、子育て、教育、健康、まちづくり、環境、災害対策など、区民の生活に直結するさまざまな取り組みを示した10年・5年先の未来への計画書です。皆さんの意見を反映させ、よりよい計画にするために、ぜひ、たくさんの声を聞かせてください。
それでは早速、目黒の未来への計画書の案をのぞいてみましょう。

1 目黒の3つの計画

知ってほしいこと

みんなで作る未来への計画書って何ですか？

皆さんが住んでいる目黒区は3つの計画を立て、未来を描いています。今年度中に新しい計画を立てるので皆さんの声を聞かせてほしいんです

こんにちは。目黒区長の青木英二です！

1 基本構想 (3年3月策定)

区政運営の指針 目黒の憲法的存在

20年後を見据えて、区の将来像と基本目標を定めるものです。

2 基本計画

10年計画 (4~13年度) 政策や施策

基本構想で描いた将来像・基本目標を実現するために、基本的な方向性を定めるものです。

3 実施計画

5年計画 (4~8年度) 事業

基本計画が示す区の方向性や考え方を踏まえて、必要となる取り組みを具体的に表した計画です。

区の将来設計はこんな感じですよ。あなたの夢は何ですか。重ねてみましょう

私の未来の計画書はこんな感じ！

- 20年後の私：世界一の花屋
- 10年後の私：花のことなら何でも知ってる花博士
- 5年後の私：花博士になるために花屋をたくさん巡る

自分の夢に置き換えて考えると、分かりやすいね！

2 10年後・5年後の目黒の未来 ~未来への計画書の案~

基本計画は10年後、実施計画は5年後の目黒のまちをこんなふうにしていこうという計画なんです

そうなんです！目黒の未来をのぞくには、基本計画と実施計画を見るのが一番！

さっそく、目黒の未来をのぞいてみよう！

1 20年後の目黒！基本構想

将来像 「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」

基本目標

1. 学び合い成長し合えるまち
2. 人が集い活力あふれるまち
3. 健康で自分らしく暮らせるまち
4. 快適で暮らしやすい持続可能なまち
5. 安全で安心して暮らせるまち

2 10年後はこんな目黒に！ 3 5年後はこんな目黒に！

2 10年後はこんな目黒に！

一例を紹介します！

教育

誰一人取り残さない質の高い教育が実践され、安全・安心な学校施設への更新、望ましい学校規模による充実した教育活動の展開など、魅力ある学校づくりが進められています。

子育て

子どもが安全・安心に過ごせる居場所があり、気軽に相談できる窓口が確保されています。

3 5年後はこんな目黒に！

一例を紹介します！

次代を担う子どもたちの未来へ投資 子どもの居場所があると安心だね

区立中学校の適規模・配置の推進

- 南部・西部地区の区立中学校の統合に向けた取り組み

学校の施設の計画的な更新

- 老朽化した学校施設の計画的な建て替え

学校のICT環境整備

- 区立小・中学校で使用する教育用ICT(情報通信技術)機器の更新や校内ネットワーク環境の改善

放課後子ども総合プランの推進

- 学童保育クラブがある小学校にランランひろばを整備し、一体型を中心とした放課後子ども総合プランを実施

にぎわい

年齢や国籍、障害の有無などにとらわれることなく、互いを尊重し合った温かい交流を行う地域社会が実現しています。

将来、自分の暮らしを自由に選択できると安心ね

健康

充実した医療提供・相談支援体制や感染症対策が構築され、健康への不安を抱えることなく安心して生活することができています。

福祉

高齢者や障害のある人など誰もが、自らが望む生活の在り方を選択し、必要な支援を受けながら、地域社会の一員として自立し、充実した生活を送っています。

住み慣れた地域で自立した生活を

障害者福祉施設の整備支援

- 障害者グループホームの拡充

高齢福祉施設の整備支援

- 特別養護老人ホームの拡充

SDGsの視点を盛り込んでいます

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。

今回の基本計画と実施計画は、17のゴールに施策と事業を結び付け、区が今後10年間で取り組むべき方向性を明確にし、誰一人取り残さないという理念のもと、心地よいまちを目指します。



まちづくり

区民・団体・企業・教育機関・行政など、多様な主体が参画し、快適で暮らしやすい持続可能なまちづくりが行われています。

安全・安心

災害に強いまちづくりが進み、区民が具体的に実感できるようになっています。

環境

3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組み、再生可能エネルギーの利用や省エネ行動が広く普及し、区内の二酸化炭素排出量が削減され、地域全体の環境負荷が低減しています。

安全で快適なまちづくり

魅力ある街並みの整備

- 自由が丘駅、中目黒駅、目黒駅周辺地区などの公民連携のまちづくりを推進

道路・橋の強じん化対策

- デジタル技術などを活用した効果的・効率的な都市インフラの機能維持

区施設の電力供給における脱炭素化

- 再生可能エネルギーなど非化石燃料由来電力の導入により、脱炭素化を推進

防災面の強化は絶対必要だね

3 まちはみんなでつくる ~ご意見をお寄せください~

みんなで作るってどういうこと？

基本計画・実施計画は皆さんの意見からできるものです。ぜひ、皆さんの声を聞かせてください

各計画の素案は、下記の場所または区☎(コード①)でご覧になれます。

閲覧場所

総合庁舎本館1階区政情報コーナー・4階政策企画課、地区サービス事務所(東部を除く)、住区センター、図書館

意見の提出方法

書式は問いませんが、基本計画または実施計画への意見と明記のうえ、住所・氏名(団体の場合は、所在地・団体名・代表者名)、在勤・在学者は所在地・名称を書いて、区☎(コード①)・郵送(持参可)・FAX・Eメールで、12/3(必着)までに、総合庁舎本館4階政策企画課長期計画コミュニティ係(〒153-8573目黒区役所(住所不要)、☎5722-6134、✉r-keikaku@city.meguro.tokyo.jp)へ。頂いたご意見には個別に回答しませんが、要旨をまとめて公表します(原文、住所・氏名などは公表しません)。

パネル説明会を開催します ※希望者は当日会場へ

日時	会場
11/7(日)・9(火)	東山住区センター(東山2-24-30)
11/12(金)・14(日)	原町住区センター(南1-8-9)
11/14(日)・16(火)	10:00~16:00 中央町社会教育館(八雲1-10-5)
11/21(日)・25(木)	緑が丘文化会館(緑が丘2-14-23)
11/21(日)・22(月)	田道住区センター(目黒1-25-26 田道ふれあい館内)

4面では財政計画(素案)を紹介します